

【令和3年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立内本町デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市内本町2-2-12	設置年月日	平成8年6月12日

1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	【規模】 延べ床面積 265.0㎡ 定員数 30人	【開館日等】 開館日 月～土曜日午前8時15分～午後5時15分 休館日 日曜日、年末年始	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 燦愛会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者の収支		令和2年度		令和3年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	52,800,000	56,626,528	61,600,000	54,620,664
		その他 (円)	2,500,000	3,923,747	4,000,000	9,990,891
		合計 (円)	55,300,000	60,550,275	65,600,000	64,611,555
	支出	管理経費 (円)	47,800,000	52,637,785	53,000,000	50,341,833
		その他 (円)	0	0	0	0
合計 (円)		47,800,000	52,637,785	53,000,000	50,341,833	
収支差額 (円)	7,500,000	7,912,490	12,600,000	14,269,722		

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和2年度		令和3年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	7,854	6,304	7,669	6,491
2	稼働率 (%)	85.0	68.2	83.0	71.2

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	意見箱の設置、利用者アンケートの実施、利用者との日々の会話等で把握している。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 利用者アンケートでは、入浴に関しては、湯温がぬるい、脱衣室の室温が寒い、入浴時間が長い等の声があった。
(3)結果を受けての対応状況	利用者の要望等に対し、できる限り迅速に対応している。定例会議や日常業務内で対応結果やその方法を共有している。 また、利用者からは特に入浴に関して、湯温がぬるい、脱衣室の室温が寒い、入浴時間が長いという声が挙がっていた。利用者の声を受け、湯温・脱衣室の室温は適温に調整、入浴時間は利用者の身体機能に応じて対応している。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	送迎範囲や体験利用時の様子に支障がなければ、可能な限り受入れている。
(2)施設の効用の発揮	血圧の上昇、通常と異なる身体状態をケアマネジャーや家族に伝達することで、利用者の健康維持を図っている。また、食事や服薬状況の把握等を朝の迎車時に実施しており、高齢者の在宅支援にも寄与している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっており、職員に対する研修は計画的に実施されている。 財政面については、裏紙の使用や暖房設備の使用頻度の縮減により経費削減に取り組んでいる。毎年収支は黒字であり、施設を安定的に運営できている。
(4)施設の管理経費の縮減	裏紙の使用やエコドライブの徹底、風呂の湯の節水、暖房設備の使用頻度の縮減を実施している。
(5)その他	書類の整理・保管、会議等での職員間の情報共有を丁寧に行っている。また、利用者の声やニーズにあう給食メニューやレクリエーションを検討しており、利用者の声をサービスに反映できるよう積極的に努めている。施設の維持管理に関して、避難通路に物がなく、ガス設備や火器設備に異常がないか自主点検を行っており、有事に備えた施設管理を行っている。

(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。今期の運営から当該法人が指定管理を行っているが、運営当初は40%程度だった稼働率も、利用者へ寄り添ったサービスを提供したことで、稼働率が71%ほどとなり、年々上昇している。 引き続き利用者の確保に努め、稼働率を向上するとともに、今後の指定管理期間で、募集要項に記載している加算の取得を実施されたい。
---------	---

【令和3年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立亥の子谷デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市山田西1-26-20	設置年月日	平成11年5月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	【規模】 延べ床面積 482㎡ 定員数 27人	【開館日等】 開館日 月～土曜日午前8時～午後6時 休館日 日曜日、年末年始	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 こばと会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者の収支		令和2年度		令和3年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	66,446,000	60,201,204	60,209,000	60,624,433
		その他 (円)	546,000	6,193,799	4,931,000	4,744,638
		合計 (円)	66,992,000	66,395,003	65,140,000	65,369,071
	支出	管理経費 (円)	65,982,000	64,812,665	64,169,000	60,202,815
		その他 (円)	0	0	0	1,077,839
合計 (円)		65,982,000	64,812,665	64,169,000	61,280,654	
収支差額 (円)	1,010,000	1,582,338	971,000	4,088,417		

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和2年度		令和3年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	7,318	6,957	7,318	7,173
2	稼働率 (%)	88.0	83.9	88.0	88.0

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	投書箱の設置、利用者アンケートの実施、利用者との日々の会話等で把握している。また、利用者アンケート内に「生活の中での困りごとや悩み」を記入する欄を設け、家族からのニーズを把握できるよう工夫していた。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 一方で、利用者アンケートでは、接遇や食事に関するマイナスの声があった。家族からは、自宅でできる身体機能の低下の予防法はないか、送迎の時間は変更可能か、という声があった。
(3)結果を受けての対応状況	利用者の要望等に対し、できる限り迅速に対応している。利用者アンケートで把握した声は、すぐに解決策を見出し、職員間での指導や利用者対応の変更等、迅速に対応している。また、家族からのニーズについても、内容に応じてアドバイスや提案を行い、介助者の負担を減らすよう努めている。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	送迎範囲に支障がなく、曜日に空きがあれば、可能な限り広く利用者を受け入れている。利用者には、秘密保持について利用開始時に重要事項確認書で確認し、また、重要事項確認書だけでなく、個人情報の利用目的や苦情申出窓口の設置に関する案内を、いつでも閲覧できるよう施設に掲示し、風通しの良い利用環境を整えている。
(2)施設の効用の発揮	利用者のできる範囲で、レクリエーションや施設内の作業について役割分担しており、施設職員の後押しを受けながら、利用者が作業をやり遂げることで、自信や達成感に繋げている。また、利用者の過去のキャリアから、施設での活動や趣味に繋がれるヒントを見出し、より利用者の取り組みやすい役割を検討している。 施設の壁にクイズや利用者の目標を掲げることで、施設の利用促進、利用者の達成感、「自分も頑張らない」といった利用者同士の健康に向けて高め合う作用に繋げている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっている。また、多彩な内容の研修を実施し、職員の能力向上を図っている。 財政面に関しては、昨年度に比べ、施設でのコロナ発生や利用自粛による減収、支出額の増大があったものの、事務費削減等に取り組むことで収支を黒字に保っており、施設を安定的に運営できている。
(4)施設の管理経費の縮減	両面印刷、裏紙の使用、照明の間引き、消灯の徹底、洗濯回数の削減、自然乾燥による乾燥機の使用頻度の縮減、低燃費に留意した車両更新を実施している。
(5)その他	マニュアルが多岐にわたり整備されており、職員間での共有・指導が行き届いている。 また、地域連携・地域貢献に積極的に取り組んでいる。具体的には、職業体験の受入れ、火災時の避難者支援、送迎時の防犯パトロール等を実施していた。 毎月発行される亥の子谷デイだより、施設HPは見やすだけでなく、施設での活動内容、雰囲気がよく分かる。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。休業や利用自粛による減収があったものの、事務費削減に取り組み、高質なサービスを提供しつつ、安定した管理運営を実施できた。また、地域連携・地域貢献の取り組みについても、指定管理申請書に記載の事業のほか、積極的に取り組み、当初提案していた事業をすべて実施することができた。 今後の指定管理期間で、募集要項に記載している加算の取得、社会福祉法人軽減事業を実施されたい。

【令和3年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立千里山西デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市千里山西2-13-2	設置年月日	平成11年9月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	【規模】 延べ床面積 1045.1㎡ 定員数 50人	【開館日等】 午前8時30分～午後5時30分 年中無休	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 寿楽福祉会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務 					
(5)指定管理者の収支		令和2年度		令和3年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	137,623,000	127,579,146	131,023,000	117,982,909
		その他 (円)	12,274,737	12,276,448	12,088,480	8,490,564
		合計 (円)	149,897,737	139,855,594	143,111,480	126,473,473
	支出	管理経費 (円)	148,898,142	135,517,195	139,056,933	129,194,731
その他 (円)		0	0	0	0	
合計 (円)		148,898,142	135,517,195	139,056,933	129,194,731	
収支差額 (円)	999,595	4,338,399	4,054,547	△ 2,721,258		

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和2年度		令和3年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	16,425	15,460	16,425	13,538
2	稼働率 (%)	90.0	84.9	90.0	77.8

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	利用者アンケートの実施、利用者との日々の会話、電話での利用者家族との会話でニーズを把握している。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 しかし、利用者アンケートでは、食事の味付け、レクリエーションの内容、職員の接遇・連絡方法に関する声が目立った。
(3)結果を受けての対応状況	利用者の要望等に対し、できる限り迅速に対応している。アンケート結果を全職員で共有し、職員会議や各委員会で対応策を検討している。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	中重度の利用者も広く受け入れている。また、利用者確保の取り組みとして、デイサービスセンターの体験利用、ケアプランセンターや訪問でのパンフレット配布を実施している。
(2)施設の効用の発揮	中重度の利用者も受け入れている。施設でのコロナ発生による休業、それに伴う利用者の移籍が影響し、昨年度に比べ稼働率が減少したものの、77.8%と一定の水準を維持している。また、自主事業で配食サービス、介護予防居宅介護支援事業等を実施しており、市の施策にも貢献している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっている。認知症対応型生活相談員等の専門知識を持つ職員を配置し、認知症高齢者に寄り添ったサービスを提供している。 財政面については、施設でのコロナ発生による休業、それに伴う利用者の移籍が影響し、赤字となった。しかしながら、法人内で連携を取り、サービスに支障を来すことなく、安定的に運営することができた。
(4)施設の管理経費の縮減	両面印刷や空調設備の使用頻度の縮減、アイドリングストップ装置付きの車両の導入、エコスタイルの実施等に取り組んでいる。
(5)その他	個人情報保護の取扱いについて、研修実施やマニュアル策定が行き届いており、採用時には職員と法人とで誓約書を交わしている。 また、加算取得について、管理運営の基準となる加算の取得数を達成するだけでなく、令和3年度には新たな加算を取得しており、施設のサービスの向上に積極的である。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。 主たるデイサービスセンター事業、自主事業だけでなく、個人情報保護、災害時対応等に関しても、マニュアル整備や研修実施をはじめ、綿密に取り組む姿が見られた。 アンケート結果で職員の接遇等、利用者からの声を把握した点については改善に努められたい。また、今後の指定管理期間で、社会福祉法人軽減事業、地域連携・地域貢献に関する事業を実施されたい。

【令和3年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立藤白台デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市藤白台2-9-1-115	設置年月日	平成15年4月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	【規模】 延べ床面積 432.7㎡ 定員数 25人	【開館日等】 開館日 月～土曜日午前8時～午後6時 休館日 日曜日、年末年始	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 吹田みどり福祉会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者の収支		令和2年度		令和3年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	65,610,000	48,429,336	55,843,000	51,735,085
		その他 (円)	1,000,000	200,000	1,217,000	1,279,390
		合計 (円)	66,610,000	48,629,336	57,060,000	53,014,475
	支出	管理経費 (円)	53,852,000	52,369,645	55,116,000	55,110,775
		その他 (円)	0	234,949	0	0
合計 (円)		53,852,000	52,604,594	55,116,000	55,110,775	
収支差額 (円)	12,758,000	△ 3,975,258	1,944,000	△ 2,096,300		

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和2年度		令和3年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	6,630	5,183	6,396	5,719
2	稼働率 (%)	85.0	66.7	82.0	73.3

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	意見箱の設置、利用者・家族アンケートの実施、利用者との日々の会話から、ニーズを把握している。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 アンケートでは、連絡ノートに様子を詳しく書いてほしい、職員に名札を着用ほしい等の声があった。
(3)結果を受けての対応状況	毎日のミーティングで利用者の声を共有し、利用者の個性や体調を加味し、都度対応している。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	利用申し込み前に1日体験デイを実施しており、施設の実際の様子を感じてもらうことで、利用者確保に繋げている。 また、ホームページに曜日別の空き状況を掲載しており、施設利用を検討しやすいようにしている。
(2)施設の効用の発揮	利用者の体調や個性、好きなものに応じて、レクリエーション等を計画している。手芸の好きな利用者が施設で手芸の活動をしたのち家でマスクを作ってきたり、体を動かすゲームで身体機能を維持し、家族と散歩に行けるようになったりと、デイでの活動が家庭での生活に変化をもたらしている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっている。また、新型コロナウイルス感染症に関する内容を中心に、すぐに現場で活用できる知識を学べる研修を多数受講している。 財政面に関しては、コロナ禍の利用控え等による減収が影響し、収支決算は赤字となった。しかしながら、法人内で連携を取り、サービスに支障を来すことなく、安定的に運営することができた。
(4)施設の管理経費の縮減	電気の消灯、印刷枚数削減に関する意識の向上、みどりのカーテンやサーキュレーターを用い空調設備の使用量の削減、自然光の利用による電気使用量の削減を実施している。
(5)その他	広報活動に積極的で、見る対象にとって有益な情報が分かりやすく掲載されている。特にホームページには、曜日別の空き状況や施設の様子、当月分の献立、デイサービスセンターの1日の流れが掲載されており、利用を検討している人にとって、施設を利用したときの様子がイメージしやすい。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。コロナ禍の利用控えとそれに伴う減収があったが、利用者とその家族に寄り添った、高質なサービスを提供していた。 今後の指定管理期間で、募集要項に記載している加算の取得について実施されたい。